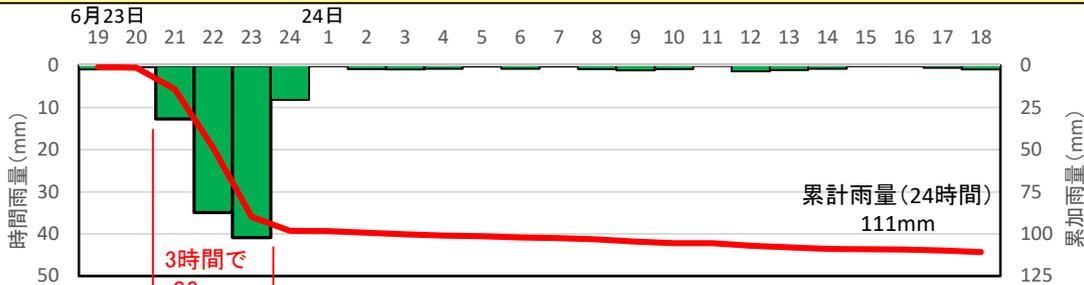


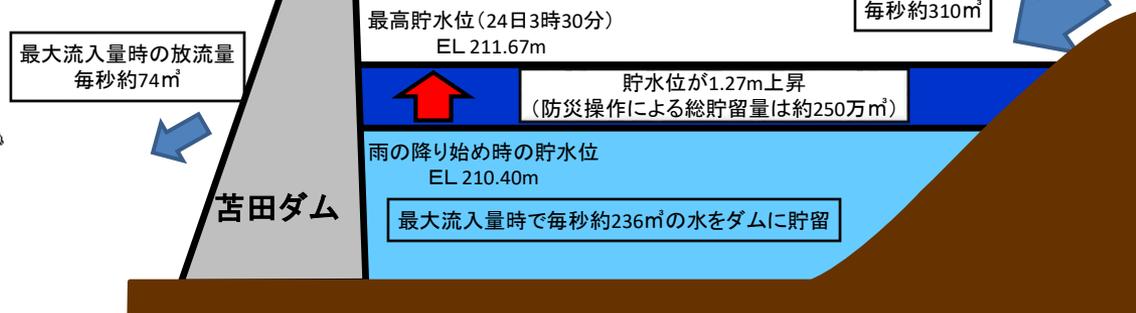
苦田ダムの防災操作による治水効果 (令和7年6月23日～6月24日) ～吉井川津山地点の水位を約0.9m低下～

- 令和7年6月23日21時頃から梅雨前線の影響により苦田ダム流域内で集中豪雨が発生し、苦田ダム上流域において23日20時から23時の3時間に89mm(流域平均)の降雨となり、ダムへの最大流入量は最大毎秒約310m³を記録。
- 今回の防災操作において、約250万m³の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大流入時で毎秒約236m³低減。
- ダム下流の津山地点(岡山県津山市昭和町)において、約0.9mの水位低減効果があったものと推定。

苦田ダム位置図



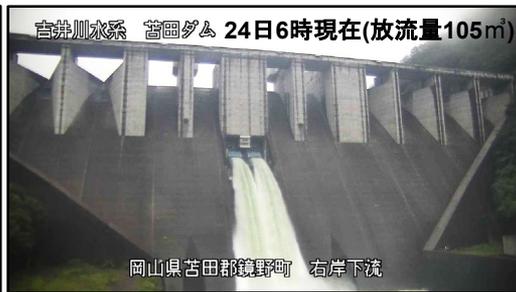
苦田ダムにおける貯留効果



苦田ダム貯水位の状況



苦田ダム放流時の状況



津山市昭和町今井橋付近における水位低減効果



※数値は速報値であり、今後変わることがあります。